

「健康都市」への取り組み

尾張旭市は、昨年6月に、WHO（世界保健機関）西太平洋地域で健康都市に取り組む都市間ネットワークとして発足した「健康都市連合」の設立メンバーとして加盟が承認されました。

WHOは、それぞれの都市がその実情や抱えている課題を踏まえた健康都市のビジョンを持ち、熱心に努力している都市を「健康都市」としており、健康を個人の責任としてのみ捉えるのではなく、都市そのものを健康にしようとする考え方にに基づき、「WHO健康都市プログラム」を提唱しています。

また、同年8月には、市民一人ひとりが心も体も健やかで、いきいきと暮らすことを永久の願いとする「健康都市宣言」を行うと同時に、4月29日を本市の「健康の日」と決めました。

「健康」は、市民すべての共通の願いであることは間違いありません。しかし、「健康」は言い尽くされたことばであり、あまりにも普通のことであるため、病気になった時以外は、当たり前のこととして、日常生活において流される傾向があると感じているのは、私一人だけではないと思います。だからこそ、市民の皆さんの目線を見て、日常業務における既存の事業を、見直すべきものは見直すなど、今まで以上に健康関連の幅広い施策を総合的・包括的に進めていながら、尾張旭カラーを打ち出していきたいと考えています。

このプログラムは、尾張旭市第四次総合計画の基本構想に基づき、「健康」という観点から、各種の施策や事務事業を精査し、各課が連携して、「健康都市づくり」に取り組んでいくための基本的な考え方や方向性を示すものです。そして、「健康」を、これまで市内外にアピールできるセールスポイントが少なかった尾張旭市の「ブランド」の一つとして確立させ、そこに住むすべての市民の皆さんが、そしてまち自体も健康で、まちじゅうに元気があふれるような「住んでよかった 住み続けたい 住んでみたいまち 尾張旭」を実現させていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしく申し上げます。

終わりに、このプログラムの策定にあたり、貴重なご意見やご協力などをいただいた関係者各位に厚くお礼申し上げます。

平成17年12月

尾張旭市長 谷口幸治

目 次

第 1 章 健康都市づくりに取り組む背景	1
1 . 健康都市プログラムの必要性	1
2 . 本市の特性	2
3 . 本市が目指す世界基準の健康都市づくり	3
第 2 章 健康都市づくりの目標	5
1 . 尾張旭市が目指す「健康都市」の姿	5
2 . 健康都市づくりの方針	6
寝たきりにさせないまちづくり	
外に出かけたくなるまちづくり	
住み続けたくなるまちづくり	
第 3 章 健康都市プログラムの体系	8
第 4 章 施策の展開	9
1 . 寝たきりにさせないまちづくり	9
(1) 体の元気まる作戦	9
(2) 心の元気まる作戦	13
(3) 子どもの元気まる作戦	17
2 . 外に出かけたくなるまちづくり	22
(1) みんなのぬくもりいっぱい作戦	22
(2) まちのやさしさいっぱい作戦	25
(3) 活動の楽しさいっぱい作戦	27
3 . 住み続けたくなるまちづくり	30
(1) 住環境の魅力たっぷり作戦	30
(2) 人へのやさしさたっぷり作戦	33
(3) 環境への思いやりたっぷり作戦	36
4 . 「健康都市」の普及・推進	40
第 5 章 健康都市リーディングプラン	42
1 . 元気まるいきいきネット	43
2 . まるごとウォーキングのまち	44
3 . 温泉活用型休養・交流	46
4 . 農と食による健康増進	47
5 . エコ・ガーデンシティ	49
資料	51